

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	20%	60%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ● 誰がどこに座るかなどざっくりと決めてあり、細かい変更点はその都度話し合っている ● 一度に6人以上が利用すると少し窮屈に感じる。時間帯をずらしての利用を勧めるなどしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	80%		20%	<ul style="list-style-type: none"> ● 急病時も問題ないように配置されています ● 臨機応変に個別対応ができる体制が整っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> ● 概ね段差はありません ● 車椅子の方が出入りされた実績あり。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> ● 会議等に参加しやすい、意見を述べやすい環境です ● 会社全体でテーマを決めて目標設定と振り返りを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ● 小さいこともすぐ改善に向けて取り組んでいます ● Googleフォームを使って気軽にアンケートに参加できるよう工夫している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> ● LITALICO発達ナビのブログや会報誌などで行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60%	20%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ● 去年そういうことがあったというのは報告を受けている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ● 研修情報を共有しています ● 2月にサビ児管研修を受ける予定である。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもを担当する職員と保護者を担当する職員が別であることです ● モニタリングを行い、保護者のニーズを把握し、子どものニーズにマッチした計画を作れるよう努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40%	20%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎週会議を開く、その都度他の職員に相談しやすい環境づくりがされています ● 標準化されたアセスメントツールというのがよく分からぬ。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	60%	20%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ● ケース検討会議を行い、活動プログラムの立案をチームで行っている。 ● 定期ミーティングにおいて意見を出し合っている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ● その都度子どもに提案しています ● お子様に必要な支援や個別支援計画の見直しを経て、今の状況にマッチした活動プログラムを行っているようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> ● 曜日ごとというよりは、デイの状況に応じてできる課題など設定している。 ● 活動時間は提供形態に関わらず一定である

(14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	40%	20%	40%	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動は当デイでは基本的に実施していないが、マインクラフトなど共通の趣味を通じてお客様同士が一緒に活動される機会がある。 個別活動のみであるが、状況に応じて作成している
(15)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	20%	60%	20%	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からご要望があった際は本人と相談して決めています 出勤時間 = 営業開始時間なので、全員で打ち合わせをする時間は作っていないが、お子様の支援については細かくコミュニケーションを行い、適切な支援を検討できるよう努めている。 個別対応のため
(16)	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	40%	40%	20%	<ul style="list-style-type: none"> 気になる点等を会議で共有することができます 退勤時間 = 営業終了時間なので、全員で打ち合わせをする時間は作っていないが、お子様の支援については細かくコミュニケーションを行い、適切な支援を検討できるよう努めている。 定期ミーティングでの振り返りも大切にしている
(17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> 活動報告を保護者にメールで行っており、日々の支援に関しては保護者とも確認できるよう工夫している。
(18)	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> システムを使い、個別支援計画の期限を迎えるお子様が一目でわかるようにしている。
(19)	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> 余暇活動の提供や創作的な活動など組み合わせて行っている。
(20)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> 休日で出席できない以外は、必ずお子様の主要担当者は出席するよう努めている。 児発管、職員が参加するよう心掛けている
(21)	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	60%	20%	20%	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて行っている。
(22)	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		60%	40%	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケアが必要なお子様を対応した実績がない。 受け入れ実績なし
(23)	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	40%	40%	20%	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて保護者を通じておこなうことがある
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	60%	20%	20%	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて行っている。
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて行っている。

との連携	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		20%	80%	● そういった活動を行った実績がない。
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	60%	20%	20%	● 必ず誰かが参加するように努めている。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			● お子様の状況はメールや口頭などで気軽に報告できる機会を作っている。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	40%	20%	40%	● 過去に保護者向けに研修を行ったことがあるが、それ以降は行っていない。 ● 必要に応じて
保護者への説明責任等	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80%	20%		● 丁寧に説明を行っている。また不明点には丁寧に答えるよう努めている。
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%	20%		● その都度職員間で相談しています ● 保護者からの相談は隨時受け付けて対応するようにしている。
	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		20%	80%	● 現状行っていないが、保護者から必要性を求められたら検討する必要があると思う。
非常時等の対応	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%		● 苦情については必ず速やかに児発管に報告し、迅速かつ適切な対応を行うよう努めている。
	㉞ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			● 月に1回会報誌を送っている。
	㉟ 個人情報に十分注意しているか	100%			● 従業員に誓約書を書かせて、個人情報の取り扱いに気を付けるよう徹底している。
	㉛ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%	20%		● 意思疎通ができるよう丁寧に説明したり質問の機会を作るよう努めている。
	㉜ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		20%	80%	● 地域住民と招待する活動は行っていない。必要性があれば検討も必要だと思っている。
	㉝ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60%	40%		● マニュアルは用意していていつでも見られるようにしている。
	㉞ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	40%	40%	20%	● ハザードマップを用いて非常時の避難については確認を行っている。
非常時等の対応	㉞ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	80%	20%		● 先日虐待ハラスメント防止研修があった。
	㉛ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	80%	20%		● 身体拘束を行う可能性があるお子様については、保護者や児発管に確認を行い、個別支援計画に書くよう意識している。
	㉜ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		40%	60%	● 利用時間が最大2時間のため食事をお持ちになる場合が少ない

					<ul style="list-style-type: none">● 当デイでは食物の提供は行っていない。● 食事提供なし
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			<ul style="list-style-type: none">● 迅速に対応されています● ヒヤリハットはすぐに確認できるようデータで一覧にして保管している。